

第 2 回市川市環境市民会議について

1. 開催日時 令和元年 9 月 26 日（木） 15 時～17 時 30 分
2. 開催場所 市川南仮設庁舎 1-1、1-2 会議室
3. 出席者 公募市民 10 名、事業者 3 名

4. 会議内容

(1) 次期環境基本計画の体系図案についてのグループワーク

第 1 回環境市民会議及び環境審議会で頂いた意見をもとに修正した内容を説明し、4 グループに分かれて「更に改善したいこと」について意見を出し合った。各グループで意見を 3 つ提案し、最終的に出席者全員で投票を行った。（賛同の多かった意見は下記のとおり）

- ・「自然とのふれあいづくり」について、「水」が前面に出るようにする。
- ・計画案が端的に分かるよう、市川〇〇タウンといったような打ち出し方をする。
- ・黄色く示した基本理念を貫く横串に、「環境教育」を入れる。
- ・基本理念「健やかに暮らせるまち」の施策の分野に、「近隣で支え合うレジリエンス（強靱）なまち」を追加する。
- ・地球温暖化の「緩和」と「適応」の言葉が分かりにくい。

(2) 施策の分野「資源を大切にすまち」についてのグループワーク

下記の 2 テーマについて、今後さらなる取り組みの強化に向けて、市民・事業者・市のそれぞれでどのような方策が考えられるのか、4 グループに分かれて意見交換を行った。最後に、各主体が一体となって取り組めるものを、統一テーマとして各グループで挙げてもらった。

【意見交換内容】

- ① プラスチック資源の循環について
- ② 食品ロスについて

5. 提案のあった統一テーマ

プラスチック資源の循環について	食品ロスについて
<ul style="list-style-type: none"> ・市川市オリジナルのマイバッグを作成する（布製） ・マイバッグのデザインコンテストを開催する（市民、事業者、学校等幅広く） ・プラスチックのレジ袋の提供禁止 ・有料レジ袋の料金を上げる ・「過剰包装ゼロのまち市川」 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育の推進（例えば、“ほどほどの量を買きましょう” “冷蔵庫は小さめに”といったスローガンを打ち出す。） ・フードバンクを推進する市川 ・市民、事業者の長期保存の取り組み ・「もったいない」キャンペーン ・ゴミのたい肥化

6. グループワークで出された意見

(1) プラスチック資源の循環について【Aグループ・Cグループ】

	市民	事業者	市
リデュース (発生抑制)	<ul style="list-style-type: none"> 個人消費を少なく(衣類・食品等) 必要最低限を知る 水ボトルを出来るだけ買わない 買物袋を持参して買い物へ エコバック、マイボトルを使う 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックストローを提供しないようにする 再生出来る素材活用 スーパーのポリ袋を有料化する 過剰包装をやめる 	<ul style="list-style-type: none"> 規制がなければ便利さには人は弱い。プラスチックのレジ袋などの禁止。
リユース (再使用)	<ul style="list-style-type: none"> 使いまわし、リユースに心がける ポリ袋を再使用する 	—	—
リサイクル (再利用)	<ul style="list-style-type: none"> きちんと分別 	<ul style="list-style-type: none"> 企業努力 (余ったポリエチレン管をボールペンなどにリサイクルする) 分別しやすい容器に！シール貼って欲しくない 回収場所の増加 	—
リフューズ (拒否)	<ul style="list-style-type: none"> 過剰包装を買わない 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックの食品トレーをやめる レジ袋を昔の紙袋に戻す レジ袋をプラスチックでないものに変える 過剰包装の拒否 ペットボトルをガラスビンに戻す 	—
リペア (修理)	—	<ul style="list-style-type: none"> 自社製品の修理を受け付ける 部品の在庫(保管)期間を長くする 	—
リニューアブル※	—	<ul style="list-style-type: none"> 有機物を材料に 	<ul style="list-style-type: none"> バイオプラを推奨する
その他	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋ゼロ使用宣言 金をかけて作って、金をかけて捨てていることの認識 自然に戻らないものはやめる 	<ul style="list-style-type: none"> 有料レジ袋の料金アップ (今の値段ではあまり効果ない?) プラスチック製品を再生するコストを価格に加える 	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋をサービス提供禁止→紙 マイバックをさらに広める。 塩ビ系材料の禁止 (高価へ) 旗振り役

※ 再生可能な資源へ代替すること

(2) 食品ロスについて【Bグループ・Dグループ】

	市民	事業者	市
リデュース (発生抑制)	<ul style="list-style-type: none"> 小さい冷蔵庫の推奨 買ったものを全部食べる、買いすぎない 規格外の食品 (野菜) のロス 「もったいない」という意識を持つ 大量買いをしない、冷凍できない食品 食品のシェアシステム(みんなの食堂)で抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限が近づいたものは割引販売を義務付け 季節商品は注文販売とする 消費期限が近いものよりも、期限があるものを高く販売する 生 (規格外) から加工品へ 規格外品の値引き つくる責任として材料の使い捨てをデータで示してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 少量販売の店を紹介 食材を無駄にしないレシピのお知らせ 食品ロス回収センターをつくる 「もったいない」「食べ物を大切に」啓発 フードバンクのリエゾン (連携)、コーディネート
リユース (再使用)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂にプレゼント 食べきれないものはフードバンクへ 	—	—
リサイクル (再利用)	<ul style="list-style-type: none"> コンポスト化する 	<ul style="list-style-type: none"> 売れ残ったものを集め何かしらのリサイクルに使用する 	<ul style="list-style-type: none"> 食品リサイクルセンターを作る 学校給食ゴミをたい肥化する 公園等で肥料化して使う
リフューズ (拒否)	<ul style="list-style-type: none"> 健康をこわすほど買わない 使う予定の分だけ (食材) 買う 	—	—
リペア (修理)	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物になってしまう (食べられるのに形が悪い野菜とか) 食材を使ってクッキング会などを開催する。 ※海外では有名料理人が路上生活者に作ってふるまう事例もあり。 	—	—
リニューアブル※	—	—	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> 「食材不足」の現実を教育面で学ばせる 余剰生産物を出さないように品管理する (AI システムで) 製品ごとに販売数データをとってつくり過ぎない工夫を スーパーで1つずつ、1本ずつ買えるように 食品廃棄物の量に規制をかける 	<ul style="list-style-type: none"> 長期保存可能な食品の開発、保存方法の開発 	—

※ 再生可能な資源へ代替すること